

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2013年5月23日～29日)

平成 25 年(2013 年)5 月 31 日

H E A D L I N E S

政治

与党「市民プラットフォーム」(PO), 党首選挙を迅速に行う方針
 ゴヴィン前法相, 「市民プラットフォーム」(PO)の現状を批判する公開書簡を発表
 コモロフスキ大統領, 家族政策につき政党幹部と意見交換
 チェコ大統領がポーランドを訪問
 米空軍ローテーション展開(2回目)終了
 クファシニエフスキ元大統領がウクライナを訪問
 フィンランド首相がポーランドを訪問
 PSI創設10周年記念会合

経済

「インヴェステシア・ポルスカ」の第1号案件が開始される
 「インヴェステシア・ポルスカ」プログラムを活用して高速道路を建設予定
 次期多年度財政枠組みでは「スマート開発」プログラムが研究・開発プロジェクトを支援
 ポーランドには引き続き過剰財政赤字手続きが適用
 4月の失業率が改善
 4月の新規受注が上昇
 4月の消費が僅かに減少
 LOTが修正再建計画を提出
 ポーランドの化学企業が大規模な投資を計画
 ペンドリーノ車両のデザインを発表
 LOTの経営状況
 NCBRがシェールガス技術研究開発プロジェクトの支援対象を選定
 シェールガスの採掘に対する課税は2020年まで延期の方針
 PKNオルレン社がシェールガス開発を強化, 数日中に水圧破碎を実施予定
 ラファコ社がヤヴォジノでの新規発電ユニットの建設で中国企業と協力
 ポーランド・独商工会議所調査でポーランドが中東欧で最も魅力的な投資先

大使館からのお知らせ

東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000

http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政	治
内	政

与党「市民プラットフォーム」(PO)、党首選挙を迅速に行う方針【23日】

23日、PO全国理事会は、6月29日に党大会を開催し、党首選挙を早期に直接選挙で開催できるよう党規改正を行うことで合意した。本件党首選挙は、当初本年10月から来年2月にかけて実施される予定であったが、党規改正によって本年8月に開催される見込み。

ゴヴィン前法相、「市民プラットフォーム」(PO)の現状を批判する公開書簡を発表【26日】

26日、ゴヴィン前法相は、「市民プラットフォーム」

(PO)国会議員に対し公開書簡を送付し、POが低額税制の導入、行政スリム化、包括的な親家族政策等の公約を実現できなかったとして、同党の現状を非難した。27日、トゥスク首相は、このような動きは党首選挙をより賢明なものにする旨コメントした。

コモロフスキ大統領、家族政策につき政党幹部と意見交換【27日】

27日、コモロフスキ大統領は、政党幹部との間で、自らが提唱する家族支援、出産奨励等に関する「家族のための良い環境」プログラムに関して意見交換を行った。

外	交
---	---

チェコ大統領がポーランドを訪問【23～24日】

23～24日、ゼマン・チェコ大統領がポーランドを公式訪問、コモロフスキ大統領と会談し、エネルギー、運輸インフラ等を含む二国間関係及び欧州問題について協議した。

米空軍ローテーション展開(2回目)終了【24日】

24日、5月10日からワスク基地で行われていた米空軍F-16部隊(ウィスコンシン州トゥルアックス基地)のローテーション展開訓練が終了。次の展開は7月、在伊米空軍第510戦闘飛行隊(アビアノ基地)のF-16戦闘機が参加する予定。

クファシニエフスキ元大統領がウクライナを訪問【26日】

26日、クファシニエフスキ元大統領及びコックス

元欧州議会議長は、ウクライナを訪問し、ティモシェンコ元ウクライナ首相と病院で会談した。

フィンランド首相がポーランドを訪問【27日】

27日、カタイネン・フィンランド首相がグダンスクを訪問、トゥスク首相と会談し、バルト海の環境問題、防衛産業協力、EU政策等について協議した。

PSI創設10周年記念会合【27～29日】

27～29日、ワルシャワにてPSI(拡散に対する安全保障構想)創設10周年記念会合開催。70を超えるパートナー国及び国際機関代表が参加し、大量破壊兵器の拡散に対抗するためにPSI構想が果たすべき役割及び今後実施していくべき具体的措置について協議、特定の行動を約束する声明を支持した。

経	済
---	---

経済・財政政策

「インヴェスティア・ポルスカ」の第1号案件が開始される【23日】

「インヴェスティア・ポルスカ」の第1号案件として、国立経済銀行(BGK)は、ポメラニア都市鉄道(PKM)社が計画しているTri City(グダンスク、グディニア、ソポト)とレフ・ワレサ空港や同県南部地域を結ぶ新路線の建設を支援するために、1.7億ズロチの債券を発行する。資金の7割はEUによって供給される。同路線は2015年までに開業することが予定されている。「ポーランド投資」は現在約400億ズロチに上る50のプロジェクトから構成され、このうち140億ズロチが同行から供給される。

「インヴェスティア・ポルスカ」プログラムを活用して高速道路を建設予定【24日】

GDDKiAは「インヴェスティア・ポルスカ」の投資プログラムを運営するために政府により設立されたポーランド開発投資(PIR)社にA1高速道路の一部の建設を委任した。PIR社は建設を管理するための特別目的会社(SPV)を設立し、当該企業は高速道路の通行料金の回収にも責任を負う。また、PIR社から建設に必要な資金の一部を得る他、債券の発行により資金を調達する。高速道路建設の入札は2013年下半期に実施される。

次期多年度財政枠組みでは「スマート開発」プログ

ラムが研究・開発プロジェクトを支援【24日】

2014年から2020年のEU多年度財政枠組みにおいて、研究・開発プロジェクトを対象とするプログラムは、従来の「革新的経済（Innovative Economy）」プログラムから「スマート開発（Smart Development）」プログラムに置き換えられ、ポーランド企業に80～100億ユーロの予算が供給される。主たる目標は民間企業（中小企業が対象となる見込み）の革新的プロジェクトに資金を供給することでポーランド経済の発展を刺激すること及び民間企業と学術機関との協力を促進することである。

ポーランドには引き続き過剰財政赤字手続きが適用【29日】

欧州委員会は、イタリア、リトアニア、ラトビア、ルーマニア及びハンガリーの5カ国の過剰財政赤字手続きを解除する。財政赤字を3.5%以下に抑えることができればポーランドも同手続きが解除されると見られていたが、ポーランドの財政赤字はGDP比3.9%に上っているため、引き続き同手続きが適用されることになる。財務省は、2014年までに財政赤字を要求水準まで引き下げることが望んでいる。

マクロ経済動向・統計

4月の失業率が改善【24日】

中央統計局(GUS)によれば、4月の失業率は3月の14.3%から改善され14.0%となった。4月末の登録失業者数は2,255,700人。また、4月の新規求人は、8万5千人で、3月の8万9千人より減少したものの、昨年同月の7万4千6百人よりは多い。

4月の新規受注が上昇【24日】

中央統計局(GUS)によれば、4月の新規受注は前年同月比で3月の5.1%減から0.5%増に上昇。前月比では3月の9.4%増から3.7%減へ

と低下した。輸出受注も同様に前年同月比で3月の5.2%減から3.0%増に上昇し、前月比では3月の12.3%増から5.5%減へと低下した。

4月の消費が僅かに減少【24日】

中央統計局(GUS)によれば、4月の小売販売は前年同月比で3月の0.1%減から0.2%減に僅かに減少した。実質ベースでは同0.1%減。前月比では3月の16.8%増から2.7%減に大きく減少している。専門家は、4月の小売販売は同年前月比1.2%増、前月比1.2%減と予想していた。

ポーランド産業動向

LOTが修正再建計画を提出【28日】

バニアク国有財産省副大臣は、ポーランド航空(LOT)が前日に同省に提出した再建計画につき、更なる財政支援を想定した計画となっていると話した。国有財産省はポーランド政府として承認したLOTの再建計画を6月20日に欧州委に提出することになっているが、LOTの修正再建計画では12月に実施した4億ズロチの救済援助のほかに、3億～3億5千ズロチの更なる財政支援が必要となってくる模様。

ポーランドの化学企業が大規模な投資を計画【28日】

ポーランドの化学企業である Grupa Azoty 社、Synthos 社、Ciech 社は、計約12億ズロチを投資することを計画している。Grupa Azoty 社は長期投資計画の策定に取り組んでいるが、本年3.9億ズロチ投資することが既に明らかになっている。また、グループ企業の ZA Plawy 社も3.6億ズロチの投資を計画している。Azoty グループの企業は、EUの規制に適合すべく、低排出技術への野心的な投資を予定している。Synthos 社は3億ズロチを投資

して、オシフィエンチムに研究開発センターを設立することを計画している。事業再構築中の Ciech 社は、1.2億ズロチの投資を計画している。

ペンドリーノ車両のデザインを発表【28日】

PKPインターシティは、アルストム社製ペンドリーノ・モデルのデザインを発表した。銀と青で塗装され、先頭部分はフェラーリやマセラティのデザイナーによってデザインされている。シートはリクライニング可能で、シートと膝の間隔は飛行機よりも20cm程余裕がある。車両は未だアルストム社のイタリア工場で試験走行中だが、8月にはポーランドで試験走行が開始される。定期運行は2014年12月に開始される予定。ペンドリーノの導入により、ワルシャワ―グダンスク間は現行4時間以上かかる場所、2.5時間程度に短縮される。また、ワルシャワからクラクフ及びカトヴィツェへの所要時間は2.75時間から2時間強に短縮される。同車両は最高時速250kmでの走行が可能のように設計されているが、軌道インフラ等の問題から時速200km程度の走行にとどまると見られている。また、運賃も当初二等車で60～150ズロチ程度とされていた

が、大きく上回ることになる見通し。

LOTの経営状況【29日】

ポーランド航空(LOT)は、6月11日に取締役会を開催し、同社の今後の経営方針につき決定する準備を進めている。最近LOTから国有財産省に提

出された修正再建計画では、更なる財政支援を要求する内容となっているものの、専門家は欧州委はこれを承認しないだろうと予想している。LOTの2012年の純損失は2億ズロチ超で、スイス航空やサベナ航空が以前に適用した破産手続きがLOTにも適用される可能性が出てきた。

エネルギー・環境

NCBRがシェールガス技術研究開発プロジェクトの支援対象を選定【23日】

ポーランド国立研究開発センター(NCBR)は「ブルー・ガス」プロジェクトにおけるシェールガス開発技術の第1回入札結果を公表した。NCBRは1.21億ズロチの補助金を入札によって選定された15のプロジェクトに供給する。企業側は1.04億ズロチを研究開発に支出することになる。今回選定された15のプロジェクトのうち、10件はPGNiG社(ポーランドの国有ガス会社)によるもので、同社は研究機関や他の国有企業であるPKNオルレン社やロトス・グループと協力して研究を行う。NCBRのクシュドゥオフスキ教授は、ポーランドの地質は既にシェールガス採掘を行っている国々の地質と異なることから、独自の技術開発を行う必要があると述べている。

シェールガスの採掘に対する課税は2020年まで延期の方針【23日】

ロストフスキ財務相は、シェールガス開発投資を促進すべく、炭化水素採掘税の導入を2020年まで延期すると述べた。関連の法律は2015年に発効するが、税に関しては2020年に発行する。ポーランド政府は炭化水素採掘税の骨子を昨年10月に決定していた。計画では、課税の合計は約40%を超えないとされている。法案は6月末までに議会に提出され、本年末までに成立することが見込まれている。

PKNオルレン社がシェールガス開発を強化、数日中に水圧破砕を実施予定【28日】

PKNオルレン社は、数日中にシチン(Syczyna、ポーランド東部)掘削孔での水圧破砕を実施し、当該鉱床のシェールガス埋蔵量を確定する。最初の分析で有望な量が埋蔵することが確認されていた。同社にとっては初めての水圧破砕となり、ポーランド国内では5例目となる。他方、同社は、シェールガス探査も強化している。同社は現在10の権益を保有しており、これまで約1億ズロチを投資したと見られている。2017年までにオルレン社は24億ズロチをシェールガスの探査・採掘に投資することを予定している。

ラファコ社がヤヴォジノでの新規発電ユニットの建設で中国企業と協力【28日】

ラファコ社は、ヤヴォジノでの新規石炭火力発電ユニット(設備容量910MW、タウロン社)建設において、華北電力エンジニアリング(NCPE)社とコンソーシアムを組むことに合意した。ラファコ社は44億ズロチに相当する本投資プロジェクトの主たる契約者となっている。両者の契約の詳細は、ラファコ社が契約に署名する7月31日までに明らかにされるが、蒸気ボイラーや主要な建造物を含む施設の主な部分をラファコ社が担当することがこれまで明らかにされていた。ラファコ社のモルタスCEOは、中国企業との協力は資金調達やエネルギー分野における巨大市場を保証すると述べている。専門家はNCPE社は豊富な経験を有するパートナーであり、更に、ラファコ社がプロジェクトの完了に責任を負う主たる契約者であることから、中国企業との契約が投資を脅かすものとはならないと指摘している。

その他

ポーランド・独商工会議所の調査でポーランドが中東欧で最も魅力的な投資先【28日】

ポーランド・ドイツ商工会議所の調査によれば、ポーランドは中東欧16カ国中最も魅力的な投資先国となった。過去7年間はチェコが第1位であったが、今回調査開始以来初めてポーランドが第1位となった。これまでポーランドは、2007年に9位、2008年及び2009年に4位、2010年及び2011

年に2位と徐々に順位を上げてきていた。調査は中東欧に投資する1,632社の国際的企業を対象に中東欧16カ国で実施された。ポーランドの評価は6点満点中3.99で、2位のチェコは3.96、3位のエストニアは3.81だった。調査対象企業中38%の企業が、本年ポーランドでの投資を増加させると回答しており、これはリトアニアの55%に次ぐ第2位となっている。また、ポーランド人労働者の

能力、大学教育の質の高さや、質の高い労働力の確保の容易さで最高得点を記録している。他方、

官僚制、複雑な税制が評価を下げている。また、94%の企業がポーランドに再度投資すると回答している。

大使館からのお知らせ

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成26年3月31日(月)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事

【予定】「日本祭り」日本文化フェスティバル【6月1日(土)】

タルノフスキエ・グリにて、タルノフスキエ・グリ文化センター主催による、「日本祭り」日本文化フェスティバルが開催されます。日本武道のデモンストレーション、茶道、よさこい踊り、折り紙、日本に関する展示の他、様々なイベントが予定されています。

問い合わせ先・開催場所:タルノフスキエ・グリ文化センター(住所:Sobieskiego 7, 42-600 Tarnowskie Góry, 電話:+48 32 285 27 34, Eメール:biuro@tck.net.pl, ホームページ:<http://www.tck.net.pl/>)

【予定】「第14回ポーランド・ジュニア剣道選手権大会・第9回ポーランド青少年剣道選手権大会」【6月1日(土)】

ビドゴシチ市にて、ビドゴシチ剣道・居合道・杖道協会主催による、第14回ポーランド・ジュニア剣道選手権大会・第9回ポーランド青少年剣道選手権大会が開催されます。剣道の試合の他、青少年向けの絵画と写真コンテストも予定されています。

問い合わせ先: ビドゴシチ市剣道・居合道・杖道協会主催(住所:Kasztanowa 43/21, Bydgoszcz, Eメール:kendo@kendo.bydgoszcz.pl, ホームページ:<http://www.kendo.bydgoszcz.pl/>)

開催場所:Hala Sportowa ZS nr 16 (住所:Koronowska 74, Bydgoszcz)

【予定】「日本祭り」【6月8日(土)12:00~19:30】

在ポーランド日本国大使館、商工会及び日本人会共催の総合日本文化紹介イベント「第1回日本祭り~Matsuri Piknik z Kulturą Japońską」が開催されます。日本食販売コーナーや日本文化紹介ブース(ヨーヨー、輪投げ、書道、着付け、茶道等)、よさこいソーランや和太鼓、J-POP、琉球三味線、コスプレ等のステージパフォーマンス、盆踊りなど日本のお祭りを再現したイベントです。入場無料。ぜひ、ご来場ください。

詳細はこちらです:<https://www.facebook.com/Matsuri2013>

開催場所:ワルシャワ・アグリコーラ公園(Park Agrykola)

【予定】柔道 Funai Solanin Cup 2013【6月8日(土)~9日(日)】

ノヴァ・スル市にて、「オリンピ」学生柔道クラブ主催による、Funai Solanin Cup 2013 柔道選手権大会が開催されます。ポーランド、ドイツ、ウクライナ等から約200名の選手が参加する予定です。

問い合わせ先:「オリンピ」学生柔道クラブ(ホームページ:<http://olimp.wnowejsoli.eu/>)

開催場所:Park Krasnala(住所:AL. Wolnosci 11, Nowa Sol)

【予定】第11回ヨーロッパ空手・古武道カップ【6月8日(土)】

フチャヌフ市にて、「浪人」スポーツクラブ主催による第11回ヨーロッパ空手・古武道カップが開催され、ヨーロッパ各国から選手が参加します。

問い合わせ先:「浪人」スポーツクラブ(電話:32 262 53 02, Eメール:ronin@ronin.pl, ホームページ:<http://www.ronin.pl/>)

開催場所:フチャヌフ市スポーツセンター(住所:Kusocinskiego 2, Chrzanow, 電話:32 613 10 78)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)

（ご連絡は電子メールでお願いします。）